

『農福連携』から 福島復興を考える



農林水産業は、食料や木材などの生存に不可欠な資源を生み出すだけでなく、人類の生存に不可欠な環境の多面的機能の維持にも寄与します。また労働を通じて自然に働きかける事は、人間の成長やケア、コミュニティの醸成といった福祉的側面もあります。

福島の営農再開を産業振興や経済の活性化の視点からとらえるだけでなく、労働の多義性を踏まえて、農とともにあった暮らしの意味を、震災を経験した福島の事例から考えます。今回の「福島フォーラム」は、磐城農業高校の学生さんをお招きし、暮らしや農業のあり方や、将来の仕事や学びについて深める場とします。



講師

石井 秀樹 准教授
(食農学類 生産環境学コース)

2012年3月に「福島大学うつくしまふくしま未来支援センター」に着任し、復興支援活動に従事。2019年より食農学類にて、里山管理論や震災農村復興論を担当。

日時

2025年7月8日(火)
11:00~12:00

会場

福島大学 L3教室

参加費

無料

参加方法

直接会場へお越しください
(オンライン配信は行いません)

問い合わせ先: 福島大学 復興知事業事務局

[TEL]024-503-2148 [Mail] fukushima-u@fukkouchi.com [HP] <https://fukkouchi.com>